

4.5.4 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整

- (1) 既存塗膜の劣化部の除去、下地処理及び下地調整は次により、工法は特記による。
- (ア) サンダー工法
- (イ) 高圧水洗工法
- (ウ) 塗膜はく離剤工法
- (エ) 水洗い工法
- (2) 下地調整で、下地調整塗材に代えてポリマーセメントモルタルを使用する場合は、特記による。
- (3) サンダー工法は、次による。
- (ア) 工程は表4.5.4 により、処理範囲は特記による。特記がなければ、既存仕上げ面全体とする。

表4.5.4 サンダー工法

工 程			除去・下地処理・下地調整方法
1	劣化膜の除去		ぜい弱化した塗膜の表面及びふくれ等をサンダー、スクレーパー等により除去する。
2	下地処理（下地のひび割れ部等の補修）		工法は2節及び3節により、適用は特記による。
3	下地調整	水洗い・清掃	粉化物、付着物等は、高圧水洗機を使用して除去し、清掃を行う。
4		下地調整材塗り	サンダー等により部分的に除去した箇所をセメント系下地調整塗材を充填し、段差のないよう全体を調整する。 なお、使用する下地調整塗材等は4.5.5による。

- (イ) 高圧水洗機は、粉化物、付着物等の除去に適したものとする。
- (4) 高圧水洗工法は、次による。
- (ア) 工程は表4.5.5 により、処理範囲は特記による。特記がなければ、既存仕上げ面全体とする。

表4.5.5 高圧水洗工法

工 程			除去・下地処理・下地調整方法
1	既存塗膜及び下地の劣化部の除去		高圧水洗機を使用し、既存塗膜及び下地コンクリートの劣化部を除去する。
2	下地処理（下地のひび割れ部等の補修）		工法は2節及び3節により、適用は特記による。
3	下地調整		高圧水洗機により除去した箇所を下地調整塗材でしごき塗りを行い、平らに仕上げる。 なお、使用する下地調整塗材等は4.5.5による。

- (イ) 高圧水洗機の加圧力は、コンクリート表面及び既存塗膜の付着強度により異なるため、試験施工を行い、監督職員の承諾を受ける。
- (ウ) 高圧水洗機を使用し、既存塗膜を除去する場合は、施工に関する十分な経験と技能を有する技術者の施工とする。
- なお、高圧水による事故の防止に努める。
- (エ) 床版下及び厚付け仕上塗材仕上等の場合は、工程3を省略する。

(5) 塗膜はく離剤工法

(ア) 工程は表4.5.6 により、処理範囲は特記による。特記がなければ、既存仕上げ面全体とする。

表4.5.6 塗膜はく離剤工法

工 程		除去・下地処理・下地調整方法
1	塗膜の除去	塗膜はく離剤を使用し、スクレーパー等により既存塗膜をすべて除去する。
2	下地処理（下地のひび割れ部等の補修）	工法は2節及び3節により、適用は特記による。
3	下地 水洗い	塗膜、粉化物等の除去、清掃を行う。
4	下地調整材塗り	全面に下地調整塗材でしごき塗りをを行い、平らに仕上げる。 なお、使用する下地調整塗材等は4.5.5による。

(イ) 塗膜はく離剤は、試験施工を行い、監督職員の承諾を受ける。

(ウ) 塗膜はく離剤を使用し、既存塗膜を除去する場合は、はく離剤等が残り、新規塗膜に影響を与えることのないよう除去する。

(エ) 床版下及び厚付け仕上塗材仕上等の場合は、工程4を省略する。

(6) 水洗い工法

(ア) 工程は表4.5.7 により、処理範囲は特記による。特記がなければ、(3) から (5) までの処理範囲以外の既存仕上面全体とする。

表4.5.7 水洗い工法

工 程		除去・下地処理・下地調整方法
1	下地処理（下地のひび割れ部等の補修）	工法は2節及び3節により、適用は特記による。
2	水洗い・清掃	粉化物、付着物等をデッキブラシ等を用いて水洗いし、除去・清掃する。

(イ) 水洗いで、デッキブラシによる水洗いに代えて、高圧水洗機を使用する場合は、粉化物・付着物等の除去に適した加圧力のあるものとし、監督職員の承諾を受ける。

(7) モルタル下地の仕上げは表4.5.8 により、仕上塗材の種類に応じた○印の仕上げとする。

表4.5.8 仕上塗材の種類に応じたモルタル下地の仕上げ

仕上塗材の種類（呼び名）	モルタル下地の仕上げ			備考
	はけ引き	金ごて	木ごて	
外装薄塗材 S i，外装薄塗材 E，外装薄塗材 S， 外装厚塗材 S i，外装厚塗材 E，複層塗材 C E， 複層塗材 S i，複層塗材 E	○	○	○	薄塗材の場合は、 金ごて又は木ごて
外装厚塗材 C	○	—	○	—
可とう形外装薄塗材 S i，可とう形外装薄塗材 E， 防水形外装薄塗材 E，可とう形複層塗材 C E， 複層塗材 R E， 防水形複層塗材 C E，防水形複層塗材 E， 防水形複層塗材 R E	—	○	—	—

(8) A L Cパネル下地の場合、A L Cパネル面の欠け、穴等は、A L Cパネルの製造所の指定する補修モルタルで平滑にする。

(9) 押出成形セメント板下地の場合は、押出成形セメント板面の欠け、表面の傷等を押出成形セメント板の製造所の指定する補修材料で平滑にする。